

友情

発行所
岐阜市八ツ寺町1-15
情報労連
NTT労組退職者の会
岐阜県支部協議会
☎058)265-4041
発行責任者
武田康郎



第25回支部協総会議案書(案)

ダイジェスト版



第25回情報労連NTT労組退職者の会岐阜県支部協議会の総会を開催します。
なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催方法の変更もありますので了承願います。
審議する議案は次の通りです。ご意見等は代議員(各地区の役員)までお寄せ下さい。

2022年度活動報告(案)

1、組織強化の取り組み
(1) 会員数の動向
2022年度の新規加入会員は27名であり、自然・任意脱退者の合計は69名で、9月30日会員数は2,537名となり、前年度より42名減少しました。

(2) 退職者の組織化
3月末における定年等による退職者は13名であり、NTT労組グループ連絡会と退職者の会の連携により、退職説明会を岐阜で開催し、入会勧奨を積極的に行ない、12名(92%)の方に加入していただきました。
なお、機会を捉えた加入

入勸奨により14名(遺族会員含む)の入会があり、今年度の新規会員は26名となりました。

(3) NTT労組との連携
情報労連・グループ連絡会合同幹事会・NTT労組東海総支部定期大会や岐阜分会定期大会などに参加し、2023年活動方針等について意識合わせをしました。

特に統一自治体選挙においては、現退一致で精力的に取り組み当選に大いに貢献しました。その間、退職者の会の幹事会にも岩坂分会長が参加し、NTTが抱える諸問題や現状の分会活動等について情報提供がありました。

また、例年開催される①新春、囲碁・将棋・麻雀大会、②グリーンジョブぎふ2022、③メーデー、④法律相談学習会については、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から開催中止、規模縮小等で参加ができませんでした。

昨年4月より週5日(月)金の常駐体制を敷き、会員サービス、組織運営の強化を図ってきました。

2、親睦と交流を深める取り組み
(1) 第20回グラウンドゴルフ交流会(11月15日(火))
今年度予定しました以下の2行事については、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

(2) 第42回バス旅行(5月16日(火)・17日(水))
(3) 第24回カラオケ交流会(6月7日(水))

3、福祉向上を目指す取り組み
支部協独自施策として実施している、傘寿のお祝い113名、病氣見舞い10名、本人死亡60名、配偶者死亡18名、合計201名の方々に各地区協議会から役員・幹事が訪問し、慶弔金・お見舞金をお渡ししました。

4、各種サークル・ボランティア活動について
(1) 各種サークル、ボランティアの現状
心でできない」ということになってしまいます。
最近、「安全・安心」という表現がよく使われるようになったような気がしませんか。行政の町づくり計画には「安全・安心の町づくり」という表現が頻りに出てきますし、政治家の公約にもたびたび登場します。安全・安心は同じような意味の言葉を重ねることによって、言葉の意味を強めているように思います。
しかし考えてみればおかしな話しです。安全が確認されれば安心できる

2022年度はサークル25、ボランティア15の合計40団体が活動していましたが、ボランティアの1サークルが解散となりました。

新型コロナウイルスの影響を受けて、活動の休止又は縮小を余儀なくされましたが、活動の継続を願って財政的な支援は従来どおり行いました。

(2) NTT労組退職者退職者サロン
退職者の会の5地区にあり、「事務室兼サロン」として活用されています。

(3) 機関紙「友情」及びホームページでの紹介
機関紙「友情」にサークルやボランティアの活動状況や会員募集等を掲載しています。ホームページでも、サークルやボランティアの活動状況を掲載しています。

5、電通共済加入促進活動の取り組み
今年度も、昨年に引き続き生協本部から、全会員へ加入申込書が送付されています。

6、「ありがとう」施策の実施
「ありがとう」施策では、古希125名、喜寿97名、米寿41名、合計263名の会員にギフト券が贈られました。

7、研修会の実施及び法律相談活動
総会が書面開催となったため、従来の研修会が開催できませんでした。法律相談活動は11件あり、顧問弁護士事務所へ取次ぎをしました。

8、岐阜県退職者連合会との連携
武田会長を会長に、波多野事務局長を幹事に派遣し、幹事会および総会に参加して連携を深めました。総会の後の第1回生涯学習セミナーはコロナ禍で中止されましたが、第2回は6月に「ジェンダー平等の取り組みについて」と題して開催されました。

紙面や文字を大きく見やすくするとともに、2022年1月15日発行「108号」からは、「各地で活躍する人物探訪」の掲載を始め、今までに合計10名の方に登場いただきました。

5年目を迎えるホームページはより身近な情報を掲載、内容の充実にも努めました。

URL: <https://ntt-union-ob-gifu.jindo.com/>

10、緊急時災害連絡網の取り組み
4年目を迎え、各地区

れ、加入内容を変更されない会員は、自動継続扱いとなり、加入内容の変更を希望された会員は申込書を返送する取り組みとなりました。

9、機関紙活動
支部協機関紙「友情」を、年4回の定期発行で、ホットな話題を中心に掲載し、併せてサークル、ボランティアの活動を紹介しました。

なお、2月には統一自治体議員選挙特集号を発行しました。

2022年度はサークル25、ボランティア15の合計40団体が活動していましたが、ボランティアの1サークルが解散となりました。

新型コロナウイルスの影響を受けて、活動の休止又は縮小を余儀なくされましたが、活動の継続を願って財政的な支援は従来どおり行いました。

(2) NTT労組退職者退職者サロン
退職者の会の5地区にあり、「事務室兼サロン」として活用されています。

(3) 機関紙「友情」及びホームページでの紹介
機関紙「友情」にサークルやボランティアの活動状況や会員募集等を掲載しています。ホームページでも、サークルやボランティアの活動状況を掲載しています。

「安心はできない」と思う理由はどこにあるのでしょうか。
放射性廃棄物の海洋放出は、福島第一原発の事故処理計画がうまく行っていないことを表しています。海洋放出すればそれで問題が解決する訳ではなく、汚染水は今後も増え続けるのです。その一方で、廃炉に向けた現実的な道筋と最終的な形は、事故から12年以上経った今でもはつきりしないままなのです。これではいく「安全だ」と言われても、「安心はできない」と思う

れ、社会的性差やLGBTなど日頃から気づかずに使っている言動や差別、無意識な偏った思い込みなどについて勉強しました。

支部協機関紙「友情」を、年4回の定期発行で、ホットな話題を中心に掲載し、併せてサークル、ボランティアの活動を紹介しました。

なお、2月には統一自治体議員選挙特集号を発行しました。

紙面や文字を大きく見やすくするとともに、2022年1月15日発行「108号」からは、「各地で活躍する人物探訪」の掲載を始め、今までに合計10名の方に登場いただきました。

5年目を迎えるホームページはより身近な情報を掲載、内容の充実にも努めました。

URL: <https://ntt-union-ob-gifu.jindo.com/>

10、緊急時災害連絡網の取り組み
4年目を迎え、各地区

「安全」と「安心」のはざまで考える

NTT労組退職者の会岐阜県支部協議会 会長 武田康郎

8月24日午後1時、東京電力福島第一原子力発電所に貯まった処理水の海洋放出が始まりました。東京電力の計画によれば、原発事故によって発生した汚染水からトリウム以外の放射性物質

を基準値以下まで浄化した「ALPS処理水」を、沖合約1キロの海底トンネルの先端から放出することになっています。

海岸にいきなり放出するのではなく、1キロ先の準の40分の1未満に、さらにWHO(世界保健機構)が定めた飲料水の基

準のおよそ7分の1にまで下げると言っています。こう説明をされると、何となく安全なものか、他の放射性物質は除去できるのだから「トリウム」は除去できないのかという疑問が残ります。こういう疑問が残ったままだと「安全だ」と言われても、「安

心はできない」ということになってしまいます。最近、「安全・安心」という表現がよく使われるようになったような気がしませんか。行政の町づくり計画には「安全・安心の町づくり」という表現が頻りに出てきますし、政治家の公約にもたびたび登場します。安全・安心は同じような意味の言葉を重ねることによって、言葉の意味を強めているように思います。

日本政府は海洋投棄を行う処理水は、IAEA(国際原子力機関)の定めた国際基準に合致しており安全性に問題はないと言っています。しかし関係国をはじめ多くのひと

「安心はできない」と思う理由はどこにあるのでしょうか。
放射性廃棄物の海洋放出は、福島第一原発の事故処理計画がうまく行っていないことを表しています。海洋放出すればそれで問題が解決する訳ではなく、汚染水は今後も増え続けるのです。その一方で、廃炉に向けた現実的な道筋と最終的な形は、事故から12年以上経った今でもはつきりしないままなのです。これではいく「安全だ」と言われても、「安心はできない」と思う

第21回グラウンドゴルフ県交流会参加者募集
グラウンドゴルフ岐阜県交流会を次により開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

日時/11月16日(木)午前10時から(雨天の時は11月17日)
場所/関市中池公園グラウンド
会費/500円
食事等/各自で用意してください
申込/10月20日(金)までに(中濃まんまん中G同好会:兼松別男☎0575-22-4619)又は支部協(☎058-265-4041波多野&小野)まで連絡願います。

の役員と幹事の方のご協力を得て、会員宅に訪問し緊急時に連絡を取るための取組みを展開してまいり、その後も未提出の会員への提出のお願いをしてきました。現在約8割の方から「災害時緊急連絡票」が届いています。

11、政治活動の取組み
第20回統一地方選挙の取組み
3月から4月にかけて行われた統一地方選挙については、2月に「会員の皆さまに訴えます!!」と題して「友情」号外を発行し、支持者カードと紹介者カードの集約をお願いしました。結果、支持者カード177枚、紹介者カード141枚の集約の協力を頂きました。

中でも、多治見市選挙区の県会議員選挙と市長選挙が大変話題になりました。元立憲民主党の衆議院候補者が突然離党して県議選に立候補するなど、混乱がありました。多治見市民の冷静な判断が下されたことで、県議会議員では判治康信さん、多治見市長選挙では高木貴行さんの当選を促すことができました。

なお、重点的に取り組んだ県議選関市選挙区の林幸広さん、岐阜市議会議員の柳原寛さんの当選を果たすことができず、大変残念な結果となりました。

ご支援をいただいた退職者の会員とご家族の皆さんに心より感謝を申し上げます。

12、トルコ・シリア大地震緊急支援カンパの取組み
トルコ共和国、シリア、アラブ共和国で2月6日

に発生した大地震では、多くの死者と避難生活を余儀なくされている方がいました。

こうした中、岐阜県支部協議会は緊急支援カンパに取り組み、「2,551名から255,900円」の協力を得ることが出来ました。

全国的な集約結果は、退職者の会7,110,950円、NTT労組17,719,087円、情報労連全体では28,140,639円となり、寄贈先は国連UNHCR協会、国連WFP協会、日本赤十字社等です。

は、新型コロナウイルスの感染状況等を見て判断することとしますが、徐々にコロナ前の状況に戻したいと思えます。

(1)第21回グラウンドゴルフ交流会(11月)
(2)第43回バス旅行(5月)
(3)第25回カラオケ交流会(6月)
(4)各地区協議会における親睦行事

3、福祉向上をめぐる取組み
(1)支部協独自で実施している「80歳(傘寿)のお祝い」訪問を継続実施します。
(2)入院・寝たきりのお見舞い訪問を継続実施します。
(3)福祉施策の充実として一昨年度新設した、「100歳(百寿)のお祝い」及び「90歳以上の会費免除」の制度を継続実施することとします。

4、各種サークル活動・ボランティア活動の支援
各種サークル及びボランティア団体の活動状況等により、財政的な支援を行うと共に、活動状況等を機関紙「友情」とホームページ上で広く紹介することとします。

また、新たな参加者の募集を支援し新サークル、新ボランティアサークルの結成等にも取り組むこととします。

5、電通共済加入促進活動等
6月から7月にかけて電通共済の加入促進運動に取り組むこととします。

6、「ありがとう」の施策の定着
「ありがとう」施策が実施されてから好評のうち

に推移していますが、さらなる定着を図ることとします。

7、研修会の実施
支部協議会に引き続き研修会を計画します。

8、選挙の取組み
我々退職者にとって最も重要な年金・医療・介護等の課題は、すべて法律により決められます。それらの点を踏まえ選挙活動に取り組むこととします。

具体的には、第27回参議院議員選挙については、NTT労組が推薦する候補者の必勝に向け、現・退一致で全力で取り

組むこととします。

9、法律相談活動
現役分会の協力を得て、顧問弁護士による法律相談活動を実施します。

10、岐阜県退職者連合との連携
年金 医療、介護等、高齢者福祉の充実に向けた運動に積極的に参画することとします。

11、機関紙活動
(1)機関紙「友情」は、年間4回の定期発行を継続することとします。
(2)ホームページを継続運用し、内容の充実に向けていくこととします。

各地で活躍する人物探訪

親子で楽しむ理科実験工作教室の開催

大垣市で活躍する「金森武士さん」を紹介

活動のきっかけは、2011年から「おもちゃ病院大垣」に参加しているときに、大垣リポ・ラボサークルに誘われ2017年から活動するようになりました。



理科実験工作教室

月1回大垣市の総合福祉会館などで開催しており、対象者は、3歳から小学生で親子で学ぶ会としています。1回20組40名で万華鏡づくりや入浴剤づくりなどをして、理科の不思議体験を感じてもらっています。募集をすればすぐに満員になり、好評を得ています。

2022年からは、西濃理科クラブと改称するとともに、会長として活動することとなりました。

始めは、中々思うようにいかず苦労しましたが、おもちゃ病院同様、親子の笑顔が見られるようになりとても幸せな気分になります。

もともと家に居るよりは、違う世界の人と触れ合うことで、活動的にコミュニケーションがはかれるようになりました。

今は、この活動を6人で運営していますが、もっと多くの人たちに広げていきたいと思えます。

今後も身体の続く限りボランティア活動を続けていく予定ですと話される金森さんです。



ちなみに、金森さんは、平成23年から戦没者遺族会大垣地区会長としての活動で、援護功労者として厚生労働大臣から表彰も受けられています。

各地区総会のご案内

地区別	開催日	曜日	開催時刻	場所
岐阜	10月25日	水	午前10時から	ホテルパーク
西濃	10月24日	火	午前10時から	クイーンテッサホテル
中濃	11月4日	土	午前11時から	緑風荘
東濃	10月27日	金	午前11時から	恵那峡・湖楽園
飛騨	10月20日	金	午前10時から	地場産ビル

12、各地区協議会の案内

各地区協議会総会につきましては、新型コロナウイルスの影響を鑑みながらの開催となります。

賀寿おめでとうございます

(2023年7月~9月)(敬称略)

米寿(88歳)

【岐阜】永繩 晶子 梶田 哲朗
吉村 佐和子 伊丹 正子
領木 節子 小澤 敏彦

傘寿(80歳)

【岐阜】杉光 正彦 越智 健五
小野 賢三 後藤 忠司
鳥澤 美喜夫 所 郁子
丹羽 堯庸

古希(70歳)

【岐阜】大野 善弘 川田 富士男
鬼頭 幸子 高橋 博之
松久 弥生 牧嶋 洋
額 正喜 金井 吉弘
堀 勝典

喜寿(77歳)

【岐阜】吉田 益昭 後藤 昌宏
末次 幸吉 矢島 一雄
岡本 忠郎 上ヶ平 修

東濃

丹羽 啓 井野 太郎久
小栗 正夫 尾関 地子
福井 美佐子

飛騨

羽根 重則 中嶋 容子
竹腰 昭彦 山下 菊枝
森下 富子

中濃

佐藤 育生 赤塚 敦郎
今瀬 美根子 和田 武美
佐曾利 久子 亀井 君代
各務 宣子 渡邊 成二
福井 美佐子 尾関 地子

西濃

高橋 亮一 山本 千枝子
坪井 茂樹 上田 智章
加藤 壽彦 遠藤 哲男
田中 眞理 井戸 保雄
国田 伸之 林 与士美
磯谷 益美 野中 広司
安宮 稔 今井 日出明

東濃

長瀬 浩一 長谷川 忠平
都竹 英樹 池本 豊
山田 京子 橋戸 三枝子

飛騨

都竹 英樹 池本 豊
山田 京子 橋戸 三枝子

新入会員ご紹介

(2023年7月~9月1日)

岐阜 渡邊 智弘

西濃 上田 一代

東濃 今井 恵美子

飛騨 小林 幸雄

西濃 石原 幸雄

東濃 丹羽 なつ子

飛騨 赤丸 幸雄

岐阜 山本 正之 佐藤 栄一

西濃 佐合 宣治 大橋 雅彦

東濃 丹羽 なつ子 赤丸 幸雄

飛騨 小林 幸雄

詳しくは、各地区協議会からの「案内」をご覧ください。